

第33回全日本大学ホッケー王座決定戦・東西交流戦

第33回全日本大学ホッケー王座決定戦

最終日

開催日時 7月1日(月)

会場

親里ホッケー場

天候

晴れ

【試合結果】

女子3位決定戦 山梨学院大学	0 - 0 2 - 1 2	3 1	立命館大学
男子3位決定戦 明治大学	1 - 0 1 - 2 0 E 0 0 X 0 3	2 2	山梨学院大学
女子決勝戦 東海学院大学 <2年ぶり7度目>	1 - 0 1 - 1 2	1	天理大学
男子決勝戦 立命館大学 <2年連続5度目>	1 - 1 1 - 1 0 E 0 0 X 0 2	2 1	天理大学

山梨学院大学 2 0 - 0 1 立命館大学
2 - 1

2 PC 1
5 シュート 2

戦評	<p>山梨のセンターパスで試合が開始された女子3位決定戦は試合開始早々から両チーム一歩も譲らぬ攻防が続く。8分、山梨はPCを獲得するがチャンスをものにできない。その後も山梨のスピードある攻撃を立命は堅い守備でサークルインを許さない。中盤での攻防が続く中、29分、山梨のFB中尾がグリーンカードで退場。一人少ない山梨はMF浦島らを中心に優勢に攻撃を続けるが、立命も粘り強く守りきり両チーム無得点のまま前半戦が終了。</p> <p>後半戦は、立命が一旦ペースを握り攻撃するものの、40分、山梨が速攻で攻め込みPCを獲得。FB近藤のスweepパスをFW山田が冷静に決め、先制点をあげる。勢いのついた山梨はFW藤井のドリブルからのセンターリングをFW山田がゴールに押し込み2点差とする。56分、反撃する立命がPCのチャンスを得る、FB一谷の狙い澄まされたヒットシュートが山梨ゴールの右下に突き刺さり、1点差に迫る。逆転を狙う立命は猛攻を続けるが、山梨も堅守でしのぎきり、試合終了のホーンが鳴る。2-1で山梨が3位入賞果たした。</p>
----	---

明治大学 2 0 - 1 2 山梨学院大学
2 - 1
0 E 0
0 X 0
3 SO 2
2 PC 3
9 シュート 5

戦評	<p>明治のセンターパスで始まった男子3位決定戦。開始早々から両チーム共に、激しい攻守を展開をみせる。25分、PCのチャンスを獲得した山梨はFW松本がフリックシュートを左中段に決め先制点をあげる。勢いに乗った山梨は30分に、FW佐藤が決定的なチャンスを作り出すも決めきれず。1-0の山梨リードで前半を終える。</p> <p>後半も両チーム譲らぬ試合展開が続く。40分明治はPCのチャンスも決められず。山梨は55分素早いカウンターでFW松本がスピードで振り切りリバースヒットを右下に決め2-0とする。反撃する明治は63分、PCを獲得しFB谷光が左下に決め1-2。立て続けにPCを獲得した明治は、66分、またもFB谷光が左中段にフリックシュートを決め同点とする。勝敗は延長戦へ。72分、明治がPCを獲得するも決めきれず延長前・後半はスコアレス。SO戦に突入。SO戦の結果3-2で明治が3位入賞を果たした。</p>
----	--

東海学院大学 2 1 - 0 1 天理大学
 1 - 1
 5 PC 6
 5 シュート 10

戦評	<p>女子決勝戦は天理のセンターパスにより開始された。先にチャンスを掴んだ天理はPCを獲得するが惜しくも外れる。その後も、FW森のドリブル突破からシュートを打つも弾かれる。東海もスピードある攻撃でPCを連続で獲得するも天理GK景山が防ぐ。互いに中盤で主導権争いをする中、東海がパスワークで攻め上がりPCを獲得、32分、FB佐々木のスウィープをFW山口がゴール左で受けプッシュシュートを決め先制。前半終了間際に天理はPC獲得するが決めれず1-0の東海リードで前半終了。後半は東海が攻勢に試合を進める。しかし、天理は40分にFB植村のドリブル突破からのセンターリングに、MF松本がリバースヒットで合わせ同点とする。追いつかれた東海は47分FB佐々木が角度の無い場所からの華麗なヒットシュートを左上のサイドネットに決め1-2と天理を突き離す。その後も東海の速い攻撃に対し、天理はGK景山が好セーブでゴールを守る。終了間際天理は必死の反撃を展開。東海も全員守備で守り切り、2-1で2年ぶり7度目の優勝を果たした。</p>
----	--

立命館大学 2 1 - 1 2 天理大学
 1 - 1
 0 E 0
 0 X 0
 2 SO 1
 2 PC 2
 2 シュート 7

戦評	<p>天理大学のセンターパスにより幕を開けた男子決勝。立ち上がりは立命ペースだったが、天理が前線でパスカットしMF瀧澤がサークルに切り込みPCを獲得。FB膳棚がフリックシュートを右上に決め1-0。その後は、立命は巧みなパスワークで攻めるも天理の堅いDFが守る。一方、ロングパスで一気に攻め込む天理も決定的な場面を決めきれない。激しい攻守の切り替えが続き白熱した試合展開となった。そして、27分、中盤でボールをカットした立命FW三浦がそのままサークルインしリバースヒットを決め同点。試合は振り出しに戻る。31分、天理のPCのチャンスにFB膳棚のフリックシュートを立命GK前田が好セーブ。両チームともカウンターで攻め込むも得点ならず前半終了。後半も両チーム譲らぬ手に汗握る試合展開となった。天理はMF星、瀧澤とFWの連携で攻め込むも立命DFがゴールを死守する。後半になり立命も徐々に攻撃のペース掴むが天理のDFに阻まれる。64分、MF瀧澤からボールを受けたFW和久利がサークルインしリバースヒットを中央上に決め2-1とする。しかし、66分、立命もPCの得点チャンスを獲得、FB落合がフリックを決め、同点で後半が終了し、延長戦へと突入。両チーム共に一歩も譲らずに延長戦が終了。勝敗はSO戦での決着となった。5人のシューターが打ち終えサドンデスで立命が2-1で勝利。立命は2年連続5度目の優勝を果たした。</p>
----	--